

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	サントリープロダクツ(株)宇治川工場	階数	地上3F
建設地	京都府城陽市富野荒見田81-1番地	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年9月 予定	評価の実施日	2023年4月24日
敷地面積	49,667 m <sup>2</sup> ✓	作成者	山崎 友輔
建築面積	930 m <sup>2</sup> ✓	確認日	2023年4月26日
延床面積	2,456 m <sup>2</sup> ✓	確認者	田中 和八



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p>BEE = 1.8 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B': ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>30%☆☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆☆ 100%☆☆☆☆☆ 100%超☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
Q のスコア = 2.9		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.4</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.3</p>

LR のスコア = 3.9		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 4.4</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.5</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.7</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>城陽市にある工場敷地内に事務所を新築する計画である。空気質・光環境等、執務環境の向上に配慮しつつ、高効率の機器を採用する等、省エネ性能にも配慮している。</p>		<p>その他</p> <p>特になし。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>全食茶室としており、換気量は建築基準法の35㎡/人以上を確保するなど、空気質環境の向上に配慮している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>余裕のある天井高さやリフレッシュスペースにて執務環境向上に配慮。更新間隔の長い仕上材や配管材等を採用し耐用性向上に配慮している。また、階高や壁長さ比率に余裕を持たせフレキシビリティにも配慮している。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>地域性のある木材を外装材に採用し、地域性に配慮している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>照明にLEDを採用するなど、高効率な設備システムを導入し、省エネルギーに配慮している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水器具の採用やリサイクル材・再利用できるユニット部材 (OAフロア) を採用することで、資源の保全に努めている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される